

「できることから始めよう」

さいたま市 四年 川添 真理子（かわぞえ まりこ）

私は、夏休みに、リサイクル・プラザJBに見学に行きました。一学期に、社会科のじゅ業で、ごみについて、学習していたので、リサイクルのことは、少しは知っていました。もっと深く知りたいという気持ちから、見学に行くことにしました。

しせつの中に入ると、入場料として、各自用意してきたかんを入れる回収箱がありました。私は、家から持ってきたかんを、回収箱に、そのまま入れようと思いました。入れようとしたところで、案内の中山さんに「アルミかんとスチールかんは分けて入れようね。」と言われ、何も知らなかった自分が、ちよっぴりはずかしくなりました。学校のじゅ業で、分別するというのを、学んでいましたが、毎日の生活の中では、家の人に分別してすててもらっていたため、私には意しきが欠けていたのです。反省しなければいけないと思いました。

中に入り、かんきょう学習室へ、案内されました。そこで、ビデオにそって、中山さんが、分かりやすく、リサイクルの流れ、仕組みを教えてくださいました。その説明の中で、私が、感動したことがあります。自動はん売機の話になります。だれもが、身近に見かけ、利用する、飲料水の自動はん売機ですが、私は、自動はん売機のわきにあるごみ箱が、リサイクルの重要な役目をしているということを知りませんでした。今まで、ごみ箱などと思っていた回収箱でしたが、実はリサイクルの元となっていたのです。とてもうれしくなりました。みんなが、自動はん売機で、飲料水をこう入し、飲み終わったかん、ペットボトルを回収箱へ入れる、回収されたかんペットボトルは、回収され、リサイクルとして、うまれ変わるということでした。ペットボトルは、ふたたび、ペットボトルとしてうまれ変わります。その他に、クリアファイルにも、すがたを変え、身近なたまごのパックも、リサイクルのうまれ変わりでした。全部リサイクルから成り立つという話ではありませんが、一部でも、生まれ変わっているという話は、すばらしい

ことで、感動しました。

見学の後、今の私に、何ができるか、考えました。一番、大切なのは、今の生活を見直すことだと思います。リサイクルできる物を、リサイクルへ回すこと、重要なことなのですが、そのリサイクルには、たくさんの人の手、お金がかかるということでした。私は今まで、リサイクルに、ばく大なひ用がかかるなんて、気にしていませんでした。リサイクルする前に、物を大切に使うこと、それが一番大切なんだと、今回の見学で学びました。ペットボトルをこう入して、リサイクルへ回すことも大切です。小学生の私には、水とうを持ち歩く、ごみをださなということが大切だと、実感しました。できることから始めよう、一人一人が実行してほしいと思います。